

震災直後のプッシュ型支援物資供給における問題把握とその改善に関する研究

東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学科
1423008 影山央
指導教員 黒川久幸 教授

1

目次

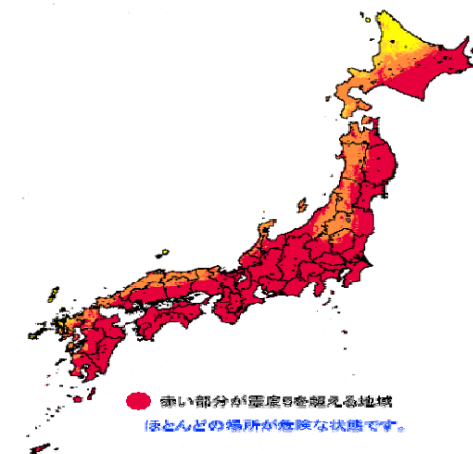
1. 研究背景
2. 研究目的
3. 支援物資の供給体制の現状について
4. プッシュ型支援物資供給の現状について
5. プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
6. 結論・今後の課題

2

目次

1. **研究背景**
2. 研究目的
3. 支援物資の供給体制の現状について
4. プッシュ型支援物資供給の現状について
5. プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
6. 結論・今後の課題

3



今後30年間に震度5以上の地震が予想される場所
(緊急地震速報のリーディングカンパニーJコーポレーションより引用)

4

目次

- 1.研究背景
- 2.研究目的
- 3.支援物資の供給体制の現状について
- 4.プッシュ型支援物資供給の現状について
- 5.プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
- 6.結論・今後の課題

5

過去の震災では震災直後に支援物資の供給が迅速に行われず被災者に届くまでに時間がかかっていた



そこで、国がプッシュ型支援を導入し熊本地震で初めて大々的に実施



しかし、多くの問題が指摘されておりまだ十分に完成されたものにはなっていない

6

目的

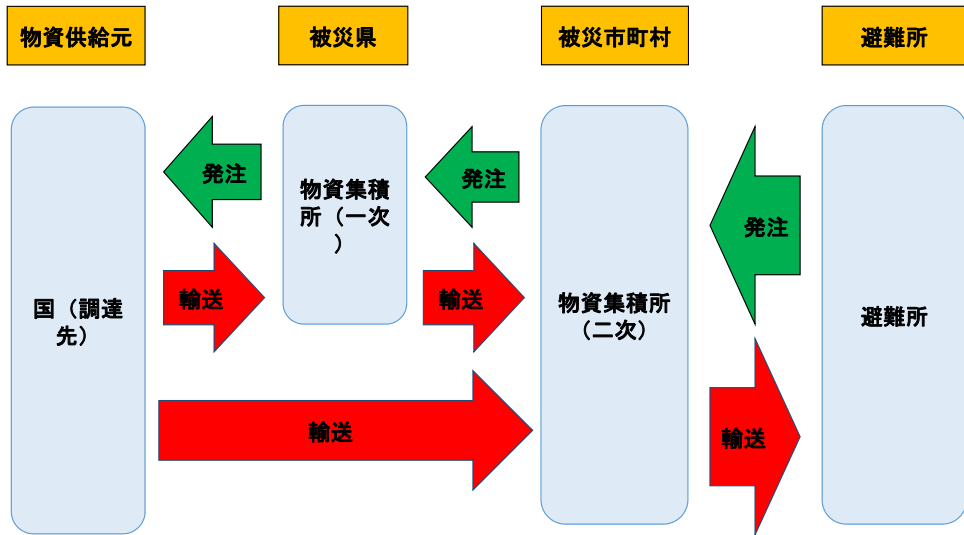
プッシュ型支援物資供給を対象に、現状の問題を整理・改善提案を検討する

7

目次

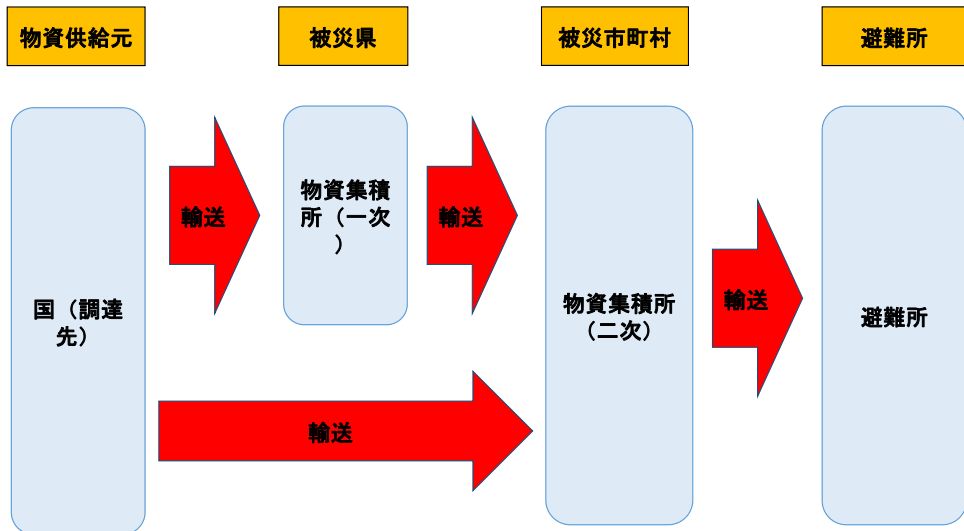
- 1.研究背景
- 2.研究目的
- 3.支援物資の供給体制の現状について
- 4.プッシュ型支援物資供給の現状について
- 5.プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
- 6.結論・今後の課題

8



目次

1. 研究背景
2. 研究目的
3. 支援物資の供給体制の現状について
4. **プッシュ型支援物資供給の現状について**
5. プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
6. 結論・今後の課題



目次

1. 研究背景
2. 研究目的
3. 支援物資の供給体制の現状について
4. **プッシュ型支援物資供給の現状について**
5. **プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討**
6. 結論・今後の課題

問題の調査・分類

- ・集積所に届くまでの過程
- ・集積所の中における過程
- ・集積所から避難所に届くまでの過程
- ・避難所に到着してから被災者に届けるまでの過程

13

集積所に届くまでの過程

- 1 支援物資を輸送する被災地への通行許可について、相当の時間を要したためにスムーズな輸送が行えなかった
- 2 道路の決壊等が発生したが道路情報が事前に把握できず、輸送が遅れた

14

集積所の中における過程

- 1 マンパワーの不足や機械設備の使用不可により、荷役、仕分、配送、データ管理が滞った。ピーク時には荷降ろしだけで3～6時間の待ち時間となった

15

集積所から避難所に届くまでの過程

- 1 燃料不足が発生し物資輸送車が走れなかった
- 2 道路や橋の決壊等により輸送が困難となり輸送が遅れた

16

避難所に到着してから被災者に届けるまでの過程

- 1 マンパワーの不足により、届いた支援物資がさばき切れず、段ボールがうず高く積み上げられた
- 2 担当者が日に日に変わることで、どこに何がいつ届くのか把握できず、避難所内での作業がスムーズに行えなかった
- 3 情報管理不足により、避難所によって物資の行き渡り方が異なった

17

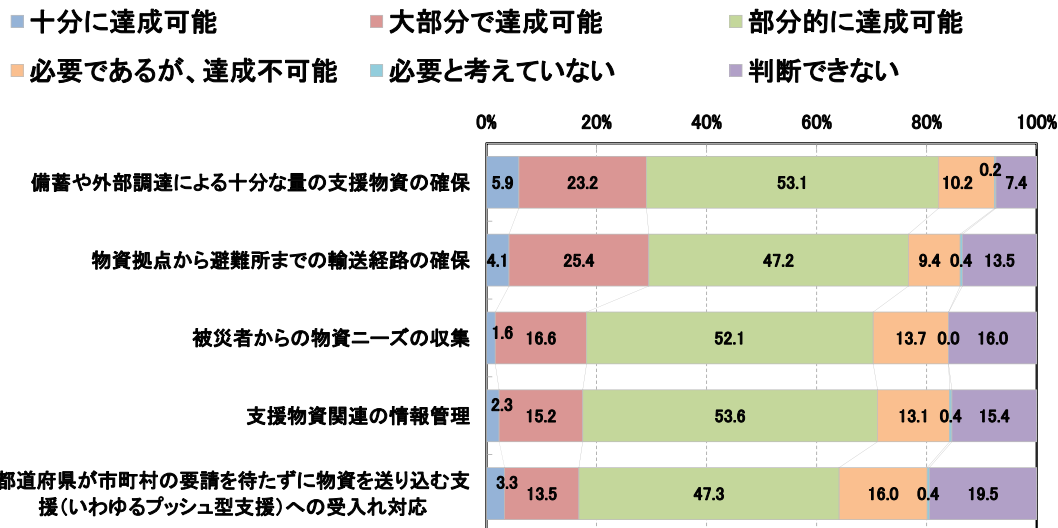
アンケート調査の分析

「災害時における支援物資の輸送と備蓄に関するアンケート」

実施期間：2017年8月1日（火）～2017年8月28日（月）

自治体のサンプル数：488

18



災害発生時に現段階の準備で自治体が達成可能な割合

19

アンケート分析結果

プッシュ型支援における自治体の準備不足

問題の現状

支援物資関連情報の共有不足が原因の問題が多数存在する

対策提言

情報システムの構築

20

情報共有システムの求められる機能要件

情報のやり取りの流れが目で見える

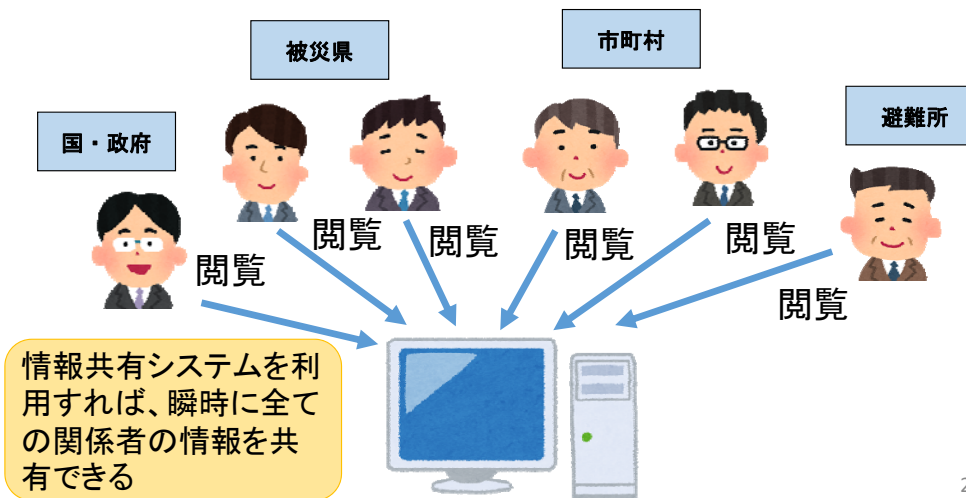
各自治体が受け入れ可能な物資量のデータをまとめたものを共有

項目を決め記入ルールを設ける

震災時でも利用可能な通信手段の整備

21

情報システム利用時の情報共有



22

目次

1. 研究背景
2. 研究目的
3. 支援物資の供給体制の現状について
4. プッシュ型支援物資供給の現状について
5. プッシュ型支援物資供給の問題整理・分析・検討
6. **結論・今後の課題**

23

問題の現状

情報の共有不足が原因の問題が多数存在する

対策提言

情報システムの構築

今後の課題

導入に向けてより詳細な中身の検討

24

ご清聴ありがとうございました。